



国際ロータリー第2600地区
上田ロータリークラブ
(創立1959年11月12日)

2021-2022年度 国際ロータリーテーマ
奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

R.I.会長 シェカール・メータ
国際ロータリー第2600地区 ガバナー 桑澤 一郎

Rotary
Club of Ueda



2021-22年度
上田ロータリークラブ

- 会長 米津 仁志
- 副会長 金子 良夫・湯田 勝己
- 幹事 柳澤 雄次郎
- 会報委員長 田邊 利江子

第2852回例会 (令和3年12月6日)



ホームページQR

[慶祝]

お誕生月(6名)

窪田 秀徳さん
鈴木 哲さん
関 勇治さん
増澤 延男さん
柳澤日出男さん
木内 孝信さん



事業創立記念月(6名)

安齋 晃徳さん
伊藤 典夫さん
柄澤 章司さん
小池 文彦さん
酒巻 弘さん
関 啓治さん



皆出席(4名)

島田甲子雄さん(33年)
柳澤日出男さん(27年)
上島 孝雄さん(26年)
桑原 茂実さん(23年)



[会長挨拶]

米津仁志 会長

みなさん、こんにちは～冬に向かって日がだんだんと落ちてきました。夕方、運転をしていると日差しが目に入りまぶしく感じます。



4日土曜日には上田青年会議所の年忘れの会に

上田RCの代表として参加してまいりました。酒巻さんのご令嬢が理事長として立派に運営されていました。元気のいい若者がたくさんいましたので、この地域の将来も明るいと思いましたし、当クラブの会員予備軍もたくさんいると実感いたしました。

新型コロナウイルス感染症の10万人当たりの新規感染者数は12月3日現在、長野県全体では0.09人、上田圏域は0人であり、佐久地域が0.97人です。東京は1人、先週悪かった北海道でも1人で、日本国内に2人以上の地域はありません。海外につきましては、私が直近のインターネットのデータから計算しましたところ、アメリカが30.5人、フランス56.4人、韓国が6.9人、イギリスが65.5人、ドイツが68.6人です。

日本国政府は、新たな変異株、オミクロン株の蔓延を防ぐため、11月29日夜、全世界からの外国人の新規入国を11月30日午前0時より原則停止し、当面1か月間継続すると発表しました。これについてWHOや各国より、オミクロン株には人間の国籍は分からない、外国人だけ入国を拒否するのは差別ではないか、との意見があります。それはその通りであり、日本への入国を期待していた外国人のみなさんや我が国で外国人を待っている個人や企業のみなさんには気の毒な状況であります。オミクロン株は、感染力はかなり強いものの、重症化しないという報告もあります。あと10日もすれば新しい知見が得られるものと思います。

しかし、日本は世界の中でも最もコロナウイルスを抑制している国です。その理由については、まだ誰も納得できる説明をしていません。WHOも突き止めていません。それが分からない以上、今の状態を維持するのが、第一選択ではないかと私は思っています。

今回は、なぜ日本だけが抑制できているのか？という問いに対する答えの一つの仮説をドラッカーから引き出したいと思います。

日本的経営に言及している部分(『マネジメント』第20章 成功物語「禅と儒教」)についてご紹介します。

“仕事とツールへの現場の関与は、日本では継続訓練の一環である。あらゆる人間、しかもトップマネジメントまでもが、退職するまで研鑽を日常の課題とする。週一回のサークル活動が仕事の一部として日程化されている。

日本企業には、人事、教育訓練、購買などについて通信教育を受けている者、外部のセミナーに出ている者、夜間の専門学校に行っている者が大勢いる。私はある大企業の社長から、その日の午後は溶接の勉強会に参加するのでお会いできないといわれたことがある。これは特殊な例である。しかし、コンピュータのプログラムについて通信講座を受けている社長は珍しくない。もちろん人事の若い人も通信講座を受けている。

これは、学ぶことの目的と本質が欧米とは異なるからである。儒教の伝統のある中国とも異なる。儒教では欧米と同じように、学ぶことは次の仕事のためである。“to qualify oneself for a new, different, and bigger job”

学ぶことの本質は学習曲線で示される。一定の学習によって高原に達し、そこにとどまる。

ところが、日本の考えは禅方式“Zen approach.”とでも呼ぶべきものである。学ぶことの目的は修養“self-improvement”である。いま行っている仕事を、より高度のビジョン、能力、期待値をもって行うためのものである。学習曲線に高原はない。継続学習は学習曲線を突き抜けさせる。そこから新しい学習曲線が始まる。”

上の節の原書部分です。

“The Japanese concept may be called the “Zen approach.” The purpose of learning is self-improvement. It qualifies a man to do his present task with continually wider vision, continually increasing competence, and continually rising demands on himself. While there is a learning curve, there is no fixed and final plateau. Continued learning leads to a break-out, that is, to a new learning curve, which peaks at a new and higher plateau, and then to a new break-out.”

“すでにわれわれは、二〇世紀に入って、学ぶことの本質についての正しい考え方は儒教のそれではなく、

禅のそれであることを知るにいたっている。継続学習によって人は自らの仕事ぶり、基準、同僚の仕事を知ることができる。仕事を「われわれの仕事」として見ることができるようになる。

日本の組織では、継続学習が、新しいもの、革新的なもの、より生産的なものを受け入れやすくしている。サークル活動での焦点は、常によりよくである。新しいことを違った方法で行うことである。

サークル活動はインダストリアル・エンジニアに圧力をかける。欧米ではエンジニアは現場からの抵抗を覚悟しなければならない。日本では現場からの要求に閉口する。この継続訓練へのコミットがあるからこそ、日本では変化とイノベーションに抵抗するどころか、進んでそれを受け入れる土壌ができあがっている。同時に現場の経験と知識が不断の改善に寄与している。”

以上は『マネジメント(上)』p301～302
より抜粋して引用しました

『マネジメント』は昭和48年(1973年)に著されました。ドラッカーは、この頃(昭和40年代中盤)の日本企業の姿をみてこの文章を書きました。高度成長期には欧米に追い付き、追い越すために、より良い製品を作ろうと懸命に働く日本人の姿がありました。

ここからの話は、特別に日本人のことをひいきに見たり、外国人を差別したりするものではありません。ドラッカーが日本企業を客観的にみたときの気づきを、私自身の気づきに発展させたものです。

ドラッカーは日本企業で働く従業員が仕事のために学習することを「禅方式」“Zen approach”と呼びました。禅方式は、仕事に求められたことを学んだら終わりにするのではなく、より高い水準を求めて学びを深めていく学習の姿勢です。ドラッカーはこの姿勢を修養“self-improvement”と呼んでいます。

この節の題名は「禅と儒教」となっております。対比されている儒教の考え方においては(欧米も同じですが)、学ぶことは、新しい仕事、今までと違う仕事、より大きな仕事をできるようになるためのもので、そこまで達すればそれ以上を求めることはありません。

私の気づきは、ワクチン接種後、我が国がコロナを抑制することが出来た理由には、我が国の物事に対する対応が、禅方式にあるのではないかとことです。コロナ禍において、徐々に感染防止策の知見が分かってくると、われわれは決められたルールを守り、グループ内、家族内で徹底し、例外を許しませんでした。手を洗ったり、うがいをしたりという行為がこれまで以上に徹底され、手が抜かれることなく実施されました。何事にもしっかり

向き合い、いい加減に放置せず、常に改革や改善を続ける日本人の姿勢です。私には、高みを目指す禅僧の姿と重なって見えました。

みなさまお身体ご自愛くださいませ。ありがとうございました。

[新入会員卓話]

比田井 美恵さん

皆さんこんにちは。

今日は自己紹介も兼ねまして学校のことを紹介させていたきます。

上田情報ビジネス専門学校は昭和24年に私の父である佐藤勲がそろばん塾から始めて、今年で73年になります。

学科としては公務員科・情報処理・建築インテリア・ビジネス・医療秘書を目指すといったコースがあり、現在学生数は260名で東北信の通学できる地域は勿論、中南信からも大勢来ていただいております毎年60人ほどが上田市で一人暮らしをしています。

上田市で一人暮らしをしてもらえば家賃収入のみならず、色々なものを買って市の経済活動にも貢献してくれてるので、私は大変嬉しく思っております。

学生の出身校は進学校から工業・農業の高校・大学・短大・専門学校などで非常に多くの地域から多様な能力を持つ生徒が集まっています。

教育方針は「すべては学生のために」ですが、学生との3つの約束として「あいさつ」、「そうじ」、「素直」といったことを18年前から学校として取り組んでいます。今日は、それら約束のポストに挙げている「あいさつ」について皆さんでも何かを考えるきっかけになればと思います。

「あいさつ」がなぜ重要なのかですが、私が安心できる町、地域というのは「あいさつ」が飛び交う所と考えています。

10年以上前に見た“ご近所の底力”というNHKのテレビ番組で、非常に犯罪が多い地域を例に挙げ、その地域の自治会が考えた犯罪を減らす様々な対策の中に“あいさつをしよう”があり、会う人に必ずあいさつするよう徹底していたところ、少しずつ犯罪が減ってきたというデータが出ました。

NHKでは、結果を分析していましたが、その分析では、不審者はあいさつされると顔を見られてしまったと考えること、またあいさつすることで住民同士の結びつきが強くなり風通しの良い地域になったことから、ここでは悪いことはできないと嫌煙するようになったということでした。

この番組から“あいさつには凄い力があるな”と私も思いましたが、最近の小学生を見ているとあいさつが

良くないと感じることがあります。

毎朝、私から小学生にあいさつしますが、私の目を見ないであいさつする子、あいさつもせずに通り過ぎる子がいます。

これは、今は入学してすぐに不審者に対する教育をされており、その中では知らない人に声を掛けられたら返事をせず無視しなさいと教えていますので、顔見知りの人に対してはあいさつをしますが、私のように滅多に会わない人には自分の身を守るためにあいさつをしなくなつたと考えます。しかし、これで良いか正直不安です。

私の学校でも約束のなかに「あいさつ」がありますが、それを始めたきっかけは20年ぐらい前に公務員を目指して入学してきた男子学生が居て、その子は見事に合格して市役所に採用されました。

その男子学生の3年前に採用された女の子が学校に遊びに来たので、男子学生の市役所での様子を聞いてみると、顔を曇らせながら彼は陰であいさつもできない子だと言われているとのことで、大変ショックを受けました。

それから約束として「あいさつ」を挙げたのですが、あいさつは環境・組織で大きく変わってくると感じています。

私は一年に5回100校回って、各学校の進路指導室の先生に学生の様子・就職状況を報告していますが、学校のカラーを肌で感じるがあります。

報告の他に当然、先生や学生にあいさつをするのですが、学校によってはあいさつを返してくれない、気持ちよくあいさつを返してくれる、自らあいさつをしてきてくれるなど様々なのですが、行く年によってカラーが変わり自らあいさつをしてくれた学校が、その次の年にはあいさつしてくれないといったことから、環境・組織でカラーが変わることを実感しています。

ですから私の学校の生徒には「あいさつ」の心から学んでもらい、その心を就職先で広めてもらいたいと考え、3つの約束に取り組んでいます。

まだまだやるべきことはありますが、全学生が3つの約束を果たせることを目指して頑張っていきたいと思いますので、皆様にはご指導の程宜しくお願いいたします。

[幹事報告]

柳澤雄次郎 幹事

1. R I the rotarian 12月

2. R I 日本事務局

日本事務局「在宅勤務延長」

のお知らせ

財団室ニュース12月号

12月ロータリーレートお知らせ 114円

3. 東御RC 朗読劇場開催について



4. 飯田南 R C 例会会場変更のお知らせ
5. 例会変更 軽井沢 R C 12月20日(月) 定受あり
27日(月) 定受なし
令和4年1月3日(月) 定受なし
10日(月) 定受なし
17日(月) 定受あり
長野東 R C 12月15日(水) 定受なし
22日(水) 定受あり
29日(水) 定受なし
上田西 R C 12月23日(木) 定受あり
30日(木) 定受なし
令和4年1月20日(木) 定受なし
小諸浅間 R C 12月14日(火) 定受なし
28日(火) 定受なし
令和4年1月4日(火) 定受なし
11日(火) 定受なし
小諸 R C 12月15日(水) 定受なし
29日(水) 定受なし
令和4年1月5日(水) 定受なし
6. 会報恵送 東近江 R C

[ニコニコBOX]

安齋晃徳さん 石井懋人さん
出田行徳さん 伊藤典夫さん
小幡晃大さん 金子良夫さん
上島孝雄さん 柄澤章司さん
窪田秀徳さん 桑原茂実さん
小池文彦さん 小林俊明さん 小山宏幸さん 酒井喜雄さん
酒巻弘さん 島田甲子雄さん 関啓治さん 関勇治さん
滝沢秀一さん 田邊利江子さん 林秀樹さん
比田井美恵さん 布施修一郎さん 増田幸一さん 三井英和さん
矢島康夫さん 柳澤日出男さん 柳澤雄次郎さん
湯田勝己さん 横沢泰男さん 米津仁志さん
小林浩太郎さん 木内孝信さん 中村邦彦さん 滋野真さん

中村邦彦 副委員長



本日喜投額 35名 ￥ 82,000
累 計 ￥894,500

[例会の記録]

司 会：南部広樹 委員

斉 唱：国歌「君が代」

ロータリーソング「奉仕の理想」

- 慶祝行事
- 会長挨拶
- 幹事報告
- 新入会員卓話 比田井 美恵さん

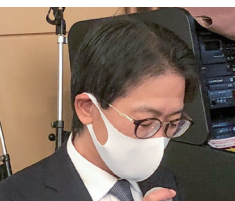
[ラッキー賞]

比田井美恵さん(林秀樹さんから、日本酒 加賀鳶)
中村 邦彦さん(林秀樹さんから、星野リゾート 羊羹)
林 秀樹さん
(柳澤日出男さんから、ニューミサ ラーメン)
湯田 勝己さん(金子良夫さんから、ちゃたまや卵3kg)
小池 文彦さん(出田行徳さんから、フランス ワイン)
関 勇治さん(上島孝雄さんから、下仁田 お菓子)
金子 良夫さん(米津仁志さんから、太郎吉 巨峰食パン)
米津 仁志さん(田邊利江子さんから、もち吉 せんべい)



[出席報告]

南部広樹 委員



	本日	前々回 (11/15)
会 員 数	59	59
出席ベース	52	53
出席者数	44	46
出席免除(b) ()内は出席者数	11(4)	11(5)
出席免除(a)	0	0
メイクアップ ()内は Make up 後		4(50)
出 席 率	84.62	94.34

[次回例会予定]

12月20日(月) 家族同伴クリスマスパーティー

(12月13日発行)

【会報担当】 小林俊明 委員